

平成30年 2 月20日

釜石市議会議長 佐々木 義昭 様

釜石市議会総務常任委員会
副委員長 佐々木 聡

行政視察報告書

総務常任委員会による行政視察を下記のとおり実施しましたので報告いたします。

研 修 先 ①愛知県新城市「まちなみ情報センター」「新城市役所」
 ②山口県下松市「下松市役所」
 ③山口県長門市「センザキッチン」
 ④山口県長門市「長門市役所」

視察項目 ①愛知県新城市『若者議会』
 ②山口県下松市『住みよさランキング』
 ③山口県長門市『仙崎地区交流拠点施設』
 ④山口県長門市『木造の新市庁舎』

日 時 平成30年1月16日（火）～19日（金）

参 加 者 総務常任委員会 5名
 細田孝子委員長、佐々木聡副委員長
 海老原正人委員、坂本良子委員、合田良雄委員

随 行 財政課新市庁舎建設推進室長 丸岡秀彰
 議会事務局次長 廣田昭仁

研修内容等 ①愛知県新城市『若者議会』

日時 平成30年1月16日（火）17：30～18：30 ・ 17日（水）9：00～10：30

市の概要

新城市は、新城市、鳳来町、作手村の新設合併によって平成17年10月1日に誕生しました。人口は47,415人。（平成29.12.1）

愛知県の東部、東三河の中央に位置し、東は静岡県に接しています。

東西約29.5キロメートル、南北約27.3キロメートルで、県内2番目の広さとなる499.23平方キロメートルを有しています。

市域の84パーセントは、三河山間部を形成する豊かな緑に覆われ、東三河一帯の水源の役割を果たしています。

また、桜・紅葉が美しく、「三河の嵐山」とも呼ばれる桜淵公園や、霊鳥仏法僧（コノハズク）の棲む山として全国的に知られ、国の名勝に指定されている鳳来寺山など、市域に広がる国定公園・県立公園の指定区域には、特徴ある地形や豊かな植生、美しい景観が点在して訪れる人を魅了しています。

若者議会について

位置づけ ・平成27年4月1日施行の「新城市若者条例」「新城市若者議会条例」に基づく市長の附属機関。

趣旨 ・若者総合政策を実施していくにあたりその実効性を担保していきます。
 ・新たな若者の参加の仕組みを構築し若者が活躍するまちを目指します。

機能 ・市長の諮問に応じ、若者政策について話し合います。
 ・政策を立案し、市長に答申します。

委員 ・定員20名以内
 ・任期1年
 ・報酬 3,000円/回
 ・資格 市内在住、在学、在勤いずれか。おおむね16歳から29歳

対応者 新城市企画部まちづくり推進課長 吉 林 和 久 様
新城市企画部まちづくり推進課若者政策係 佐々木 正 裕 様

新城市は、平成27年4月1日から「新城市若者条例・新城市若者議会条例」を定め、新城市を若者が活躍できるまちにするという大きな共通目標のもとに、この若者議会が始まりました。若者をとりまくさまざまな問題を考え、話し合うとともに、若者の力を活かすまちづくり政策を検討します。

日本で初めて条例で若者議회를定め、そこに予算をつけて、その予算の使い道を政策として若者自らが考えていくこと、さらにそれを市長に答申をして、市議会の承認を得て現実に執行していくこと。こういった一連の仕組みやサイクルが作り上げられています。

事業内容（平成29年度若者予算 総額9,552千円）

1、 図書館リノベーション事業	4, 949千円
2、 ハッピーコミュニティー応援事業	1, 320千円
3、 新城市若者議会PR事業	1, 293千円
4、 しんしろ魅力創出事業	1, 366千円
5、 いきいき健康づくり事業	41千円
6、 お喋りチケット事業	426千円
7、 若者防災意識向上事業	157千円

主な質疑内容

Q 若者議회를立ち上げるにあたって新城市議会の反応はどうでしたか？

A 市長はもともと、まちづくりのメインは市民であると言ってきました。市長のマニフェストのひとつに「若者が活躍するまちを目指す」とあり、市議会から理解を得て進めてきました。

Q 若者議会がこれだけ実績を出すまでに苦労したことはどんなことでしょうか？
（若者議会出身者から新城市議会議員に当選した方がいる）

A 人それぞれに「スイッチ」が入る所は違う。1年間でそこを探し当てるには若者がどんどん経験を積むことが大切だと思います。
自分で経験することでインプットされ、後にその経験値からいいアイデアとなってアウトプットされると思っています。

Q 成長の場「どんどん失敗しろ」とのことですが、失敗の可能性が予測されても自分で経験することで身になる経験をしてもらいたいと思う時もあると思います。職員が手を差し伸べるタイミングや線引きはどのように接していますか。

- A ここは失敗できないという所はサポーター職員がしっかりとフォローしています。できるだけ若者に任せつつ適切に軌道修正するようにしています。
小さなイベントでもどんどん経験してもらい、小さな成功体験を積み重ねることが重要だと考えます。
- Q 若者議会のメンバー確保方法と工夫はどのようにやっているのでしょうか？
- A 経過として友人を勧誘するケースが多い。電車の中吊り広告を出したこともある。若者議会メンバーのかっこいい背中を見せることが重要です。

研修所感

最近の流行語に「〇〇ファースト」と言う言葉をよく耳にします。これには「都民」であったり「国名」であったり「プレーヤーズ」などの様々な名詞を当てはめて表現されるようです。

いずれも「それを第一に考えています」もしくは「それを第一に考えるべき」という意味合いが込められていると受け止めています。

新城市では、平成27年に新城市若者条例を定めており、この中に「市民が主役のまちづくりを推進することで、元気に住み続けられ、世代のリレーができるまちをつくることを目的としている」と謳われています。

ここで重要なのは、主役はだれなのか？ということですが、釜石市においてもこれをしっかりと見極めた上で地域振興策のきっかけづくりにつなげていきたいと考えます。

余談ですが、新城市ではこの議会のほかに、女性議会と言う議会も設置されています。女性の視点、若者の視点を施政に積極的に取り込もうとする先進事例と考えます。



若者議会メンバーと懇談会



② 山口県下松市『住みよさランキング』（人口と世帯数が年々増えている）

日時 平成30年1月17日16：00～17：00

市の概要

昭和14年11月3日、当時の都濃郡下松町を中心に花岡村、久保村、末武南村を合併して市制を施行しました。

その後、昭和29年11月1日に都濃郡米川村を、昭和37年4月1日に都濃郡都濃町滝ノ口部落を編入合併して現在に至っています。下松市は、山口県の南東に位置し、瀬戸内海に面しています。面積は89.35平方キロメートル（平成27年10月1日現在）、人口56,715人（平成28年現在）。

県庁所在地の山口市から東南東へ約40kmの位置にあり、東は光市と周南市、北と西は周南市に境を接しています。

推古天皇のころ、鷲頭庄青柳浦の松の木に大星（北辰星ともいわれている）が降り、7日7夜光輝き「百済の皇子がこの地へやって来る」というお告げがあったことに始まります。それから3年後、百済からやってきた皇子が後の大内氏の祖とされる琳聖太子といわれています。このことから「星が降った松」が「降り松」、「下松」となったといわれています。また、一説によれば、百済の琳聖太子が渡来し、以来百済との交易が開けたことにより、百済と貿易する港、百済津（くだらつ）がなまって「くだまつ」となり、「下松」と書きあらわすようになったとされています。この言い伝えを引き継いで、暮らしの中に「星ふるまち下松」として息づいています。

対応者 下松市企画財政部次長兼企画財政課長 瀬 来 輝 夫 様
下松市企画財政部企画財政課地域政策係長 中 村 一 雄 様

下松市はなぜ人口増加するのか、七つの理由

- 1、住み良さランキングとは、東洋経済新報社が、全国の市区を「安心度」「利便度」「快適度」「富裕度」「住宅水準充実度」の5つのカテゴリーに分類し、さまざまな分野の公式統計を用いてランク付けしたものです。

下松市は、2014年の総合評価が全国791市区中22位にランクインし、中国四国地方では5年連続1位。西日本でも5年連続して2位以内を継続しています。

- 2、全国7位の利便性。住んでよし、働いてよし、バランス良好なまち。

下松市の人口は毎年少しずつ増えており、平成10年から平成25年までに1000人以上増加しています。

その理由として商業施設の充実や瀬戸内沿岸部から山間部まで短時間で移動可能なコンパクトな街がもたらす高い利便性があります。

3、子育て・福祉、安心して生活できる充実した支援・施設。

子どもの医療費、保育料の助成をはじめとする子育て家庭に配慮した施策や、周南記念病院を基幹施設として、複数の福祉施設で構成される「ふくしの里」などが下松市での充実した生活を支えています。

4、未来を創造するものづくりのまち。

大正時代から工業都市として発展し続けている下松市。鉄道、船舶関連からハイテク機器関連まで、幅広い製造業が盛んな「ものづくりのまち」として、その高い技術力と情熱を世界へと発信しています。

5、温暖な瀬戸内式気候で、1年中過ごしやすい快適な自然環境。

穏やかな瀬戸内海に面し、温暖な気候で1年を通じて過ごしやすい下松市。その気候が生み出す、桜、紅葉、ホタルやだんだん畑など四季折々のすばらしい景観も、下松市の魅力のひとつです。

6、山口県下で最も安価な水を豊富に供給。

下松市は「温見ダム」「米泉湖ダム」の2つのダムを擁し、山口県下で最も安価、全国でも10番目に安価な水を供給しています。

＊一ヶ月の水道料金 下松市 1,800円

釜石市 3,715円（都市データパック2016年版より）

7、笑顔と幸福を生む、優れた財政力。

美しく秩序ある市街地整備、きめ細かなサービスなど、潤いある豊かな生活は、下松市の財政力に裏付けされています。

平成の大合併が各地で進む中、合併の道を選ばず、自主自立の行財政改革に取り組んできた下松市は、財政健全度の指標となる実質公債費比率や将来負担比率などで県下1位となっております。

主な質疑内容

- Q 下松市では「くだまつ親子の日」を定めていますが、これを定めるに至った経緯とどのような趣旨の日なのか教えていただきたい。

A 平成25年度に、親子の日普及推進委員会の10周年を記念した映画「OYAKO」の撮影が、下松市笠戸島で行われました。

そこからの縁と、もともと前下松市長が掲げていた「21世紀は心の時代」という理念があり、希薄になっている親子関係を見直すことを目的に「くだまつ親子の日」が制定されました。

Q 下松市の昭和から平成までの人口推移はどうだったのでしょうか。

A 市制当時は3万人代で、その後のベビーブームによって昭和20年代から増加し高度経済成長で5万人代まで増えました。

増加した要因には地元産業の外国人技能実習生の受け入れなどがあげられます。

Q 下松市の、ものづくりスピリッツの中に「打ち出し板金技術」があり、アルミ製の弦楽器が製作されている。これを製作するに至った経緯や難しさは。

A あえて難しい「ものづくり」にチャレンジしたと考える。

地元の技術者はより高い技術が必要とされる「ものづくり」に励んでいます。できあがったものの自体が技術のPRにつながると考えます。

研修所感

上記のように市内の人口増加には明確な7つの理由がありますが、この理由を大きく2分すると地理的環境による理由と政策的理由があります。豊富な水源があることによる安価な上水道料金や年間を通じた温暖な気候風土は羨ましくも思います。一方、市民生活を支えるインフラの利便性と市民サービスも充実しています。特筆するのは高い技術力による産業基盤が強固なことです。国指定重要文化財もあり伝統文化を大切に継承され、あらゆる分野において地域社会の活気を感じることができました。



③ 山口県長門市 「仙崎地区交流拠点施設」

日時 平成 30 年 1 月 18 日 13 : 00 ~ 14 : 00

市の概要

本州の最西北端、山口県の西北部に位置する長門市。東は萩市、南は下関市、美祢市に接し、北側には北長門海岸国定公園に指定される美しい日本海の風景が広がっています。

この土地が長門国大津郡として成立したのは、大化改新により国郡里制が構築された 7 世紀後半といわれています。江戸時代には長州藩下で前大津と先大津の両宰判に分けられ、明治に入ると大小区制により区分されました。その後、郡制復活や市制・町村制施行、昭和の大合併などの編制を繰り返し、旧長門市、大津郡三隅町・日置町・油谷町となり、その 1 市 3 町が平成 17 年 3 月 22 日に合併し、長門市としてスタートしました。

・人口 34,963 人 ・面積 358 km²

【名称】仙崎地区交流拠点施設（センザキッチン）

【住所】山口県長門市仙崎 4297 番地 1

【施設設置者】長門市

【敷地面積】約 23,000 平方メートル

【延床面積】

- ・ 農林水産物等直売所・レストラン棟：約 1,465 平方メートル（新設）
- ・ 休憩所・情報発信施設棟：約 902 平方メートル（改修）

【建物構造】

- ・ 農林水産物等直売所・レストラン棟：木造、一部鉄骨造
- ・ 休憩所・情報発信施設棟：鉄骨造

【駐車場台数】大型：8 台 小型：150 台 おもいやり駐車場：5 台

対応者 長門市経済観光部成長戦略推進課長 石 本 徹 様
経済観光部成長戦略推進課道の駅開設準備室 沖 村 将 哲 様

仙崎地区交流拠点施設は近隣に暮らす人や市外からの観光客など、すべての利用者の台所です。すぐそばの日本海からは、新鮮な水産物が集まります。地元の畑からは、とれたての野菜が持ち込まれます。養鶏農家さんからは、山口県が誇る鶏肉が運ばれてきます。飲食店ではそんな素材を生かしたメニューを提供し、多くの利用者に「ながとの味」を届けます。また、楽しさにあふれ、人々の笑顔が絶えないリビングのような場所です。農林水産物等直売所では、スタッフとの会話による対面販売や実演販売等、聞くこと、話すこと、見ることで楽しさを感じることができます。青海島観光汽船の「海を活かした体験」、「木育」交流館や緑地広場での「木のおもちゃと楽しむ空間」、体験やイベントによる「感動と喜び」など、この場所では様々な利用者の笑顔が広がります。

*木育とは

平成18年9月に閣議決定された森林・林業基本計画では『市民や児童の木材に対する親しみや木の文化への理解を深めるため、多様な関係者が連携・協力しながら、材料としての木材の良さやその利用の意義を学ぶ、「木育」ともいうべき木材利用に関する教育活動を推進する』とあります。

「林業 木材産業の発展」や「子育て世代に選ばれるまちづくり」を目指した「木育」推進の拠点として活用します

主な質疑応答

- Q この施設を建設するにあたり、理想が高いとなかなか建物のイメージがわかなかったのではないかと思います。
- A1 最初は高いゆめだったものが、いろいろと準備が進んでいくことで現実味をおびて来ました。議会も市民も準備が序々に進むことで理解が深まりました。
- A2 先行投資をした後に、それをいかにして回収するかが重要であると考えます。
- Q この施設や備品にも木材がふんだんに使われていますが、この背景は。
- A 市長の木造へのこだわりです。木造で、できるものは全て木材を使います。学校やラグビークラブハウスなども木造です。林業の活性化にもつながります。さらに木材は年月が経つことで味わいが出るだけでなく強度も増します。

研修所感

センザキッチンでの農林水産物等直売所は、長門市産の木材を活用した建物で木の温もりを感じさせるにぎわい施設です。

長門市は豊富な森林資源を有効に活用しながら、森林を守っていき、次世代に受け継ぐため、平成28年11月22日に「ウッドスタート宣言」を行い「木育」に取り組んでいます。

この取り組みが始まった背景には国土の約3分の2が森林に覆われている、世界第3位の森林大国であること。また、太古の昔から木の文化を持ち合わせている国でもあること、などがあげられます。

しかしながら、現在、木材の自給率は30%程度となっており、また、近年は森林、特に人工林の手入れ不足が問題化しています。

長門市長は「長門市の1次産業の振興と従事者の所得向上を目指す中で、山を生かす道として、学校や市営住宅、「センザキッチン」の建設において木材の活用を進めてきました。山が元気になり、人が戻ってくることを積極的に取り組んでおり2010年5月に成立した「公共建築物木材利用促進法」によってこれまでの方針が180度変わり、現在は学校やビル、コンビニエンスストアといった多様な分野で木造建築が進んでおり、耐火性能を向上させるための木材の構造も開発されています。

地域に眠っている資源の有効活用と地場産業の活性化、さらには子育てにまで木の持つ可能性を見出しています。

この視点は、にぎわいを含めた「まちづくり」に非常に重要な視点であると考えます。

当市においても森林資源の有効活用は時代のニーズであるにとらえ、あらゆる可能性を模索してはどうかと考える。



④ 山口県長門市 「木造の新庁舎建設」

日時 平成 30 年 1 月 18 日 14 : 30 ~ 16 : 00

対応者 長門市企画総務部総務課長 坂 野 茂 様
企画総務部総務課庁舎建設準備室 室長 太 田 哲 也 様
企画総務部総務課庁舎建設準備室 主査 宇 野 英 樹 様

研修内容

- ・ S 38 年建設により老朽化のほか耐震性能が無いことから H27 年に基本構想を策定し建設を決定。
- ・ H28.3 基本計画策定・28.9 基本設計策定・10 月入札公告・12 月に契約した。
- ・ 基本構想で設計方針を策定し、これまでも公共建築物の木質化に取り組んだが、基本構想では以下の 3 点を検討した
 - ① 庁舎は木造とすることを検討。
 - ② 地元の材料、技術を活用し、地域経済の活性化に繋げないか検討。
 - ③ 市民の誇りとして取り組みを全国に発信できないか。
- ・ 設計者と協議して長門市産の木材を活用した木造庁舎の建設とした。
- ・ 木質、木造化の推進は林業振興の経済効果、森林環境保全、循環型社会の形成を全国に発信できると考えている。
- ・ 木造とするための 3 つの課題の克服。
 - ① 木材の調達
当初 5 0 0 0 m²の木材が必要であった。
限られた期間での木材調達の検討した結果、R C との複合構造とすることにより木材を 2500 m²に削減した。
 - ② 木造により柱、壁の量が増え庁舎機能低下の検討。
ハイブリット構造（複合）に免震構造として、R C と同様の柱間隔 12 m を確保出来た。
 - ③ 事業費の検討（木材使用により過大な事業費となり市民に負担をかけないか）
国交省の補助金（サステナブル先導事業）を活用することにより負担を圧縮した。

(木造の検討)

- ・ 5階建て、延べ床面積 7000 m²の木造庁舎は純木造では柱・梁とも巨大な物となり集成材製作限界を超えるほか、耐火部材の認定要件を超えるため、不採用となった。
- ・ 木造免震構造での検討は、将来のレイアウト変更に対応出来る柱のスパンを 10m以上に設定した場合は認定条件を超える為不採用となった。
- ・ これらを踏まえて採用したのが、木造と R C 造のハイブリットによる免震構造を組み合わせたものとした。
- ・ 具体の材料の大きさ耐震、免震では製作限界を超えるため木造+R C 造のハイブリットとした。

耐震構造	柱	1200 角	梁せい 1500	不可
免震構造	柱	750 角	梁せい 1450	不可
ハイブリット構造	柱	660 角	梁せい 950	使用可能

- ・ 配置計画 吹き抜けのエコボイドを採用。
- ・ 構造計画 杉材の大断面集成材を使用。

(材料調達)

- ・ 原木調達、集成材加工、耐火加工、プレカット等の調達から納材までの計画をウッドネット山口協同組合・日本耐火建築協会特定業務共同企業体に委託して策定した。

・ 入札方法

高度な技術力・品質管理が求められるため、特別簡易型総合評価落札方式とした。これにより、企業提案の下請け活用計画、資材調達計画を担保し、履行できない場合には違約金が発生することになり、市内企業が十分活用されることになる。

(その他)

- ・ 基本計画には木質化はあったが木造までは無く、設計者を選定した後に木造化となった。

主な質疑応答

Q 木造とすることの議会の反対意見に対して当局の対応はどうでしたか？

A 基本構想の説明を議会にしました。特別委員会により基本構想の審議を受け概ね妥当とされました。議会からの要望として

- ・建設場所を長門市付近として検討してほしい。
- ・面積、事業費は縮減につとめてほしい。
- ・地元業者参加に配慮してほしい。
- ・地元の素材、技術の活用。

Q 木造に対する反対はありませんでしたか？

A 木造に対する反対はありませんが、事業費が一番のネックでした。基本構想時は総事業費を40億としていましたが、木造化により48億となりました。8億増額となりましたが、8億で済むのかとの懸念はかなりありました。

Q 木造では維持管理費がかかるのではないのでしょうか？

A 雨がかりする部分に木を使うと維持管理が生じますが、内部であれば問題は無く、ほかの構造に比べ、木造だから特に維持費が掛かることは無い事を確認して事業を進めています。

Q 市長のリーダーシップがあり木造となったと伺いましたが？

A 設計は基本計画、基本設計、実施設計までを一括してプロポーザルで選定しましたが、プロポの条件としては木造としてはいませんでした。業者選定後に市長の強い思いが有り木造化となりました。さらに、補助金の採択を受けた事が追い風となりました。

Q 補助金はまだありますか？

A ありますが、単に木造化ではなく先導的な要素が無ければなりません。

Q 工事業者は地元のJV又は大手とのJVですか？

A 地元優先を考えましたが、ハイブリット構造で免震構造を採用したため、施工実績を地元業者が持っていないので、大手ゼネコンを入れ地元業者とのJVとしました。

Q 防災拠点、避難所としての対策を取りましたか？

A 免震構造であるので安心して頂ける。一時避難はできますが避難場所とすることは考えていません。

Q 議会から木造反対の意見が出なかったようですが市民の方の公共施設の木造への意識はどうですか？

A 否定的な意見はありません、小学校とか段階的に木造化しているため、その影響はあると思います。また市長の林業への思い入れが強いこともあります。

Q 木造とすることで耐火基準をどうやってクリアしましたか？

A 建設用地が準防火地域であり、1階が2時間2階以上は1時間耐火性能が必要であり木材は国交省の認定材を使ってクリアしました。柱に石膏ボードを1時間は2層2時間の場合には3層としてその上に木を張っているものです。

Q 端材の有効活用を図るとあるがどういったものか教えていただきたい。

A チップにして床のO Aフロアにパーティクルボードにして使用するほか内装材（ルーバー材）として活用のほか製材所のバイオマス燃料として利用する予定です。

Q 木材利用の掛かり増し分は建設単価の約 20%程度を見て建設単価は1㎡あたり約53万程度。コストが相当低く抑えられていますが、単価を抑える工夫をしたのでしょうか？

A ハイブリット構造を採用して床はコンクリートスラブとし、コンクリートと木の梁を一体化して梁の断面を小さくして木材の使用量を削減し、事業費の圧縮を図りました。

補助金の採択の要因は、合成張りとしたことで。コンクリートスラブの実物大の梁を作ってコンクリートと梁を付けて、加圧して耐えられる事を筑波で実験して確認したことが木材の削減に繋がりました。

工事と材料調達を切り離して材工分離方式で発注したことにより、ゼネコンの元請経費が掛からなくなったことが事業費減少の要因です。

耐火木造の大断面集成材ではRCやS造よりも単価が高いため、木材量を減らすことを第一に考え、ハイブリット構造（RC+木造）とし、木造部分での地震力の負担する力を減らすことで、断面を縮小しました。

通常は柱と梁で地震に耐えますが、地震があった時は床から両端部のコンクリートの耐震壁に力を流すことにより、木造部分では全く負担はしていない構造になっています。これにより柱・梁の断面を小さくできました。

通常は天井の懐部分（天井裏）が1.2m程度ありますが、今回は30cm程度としました。空調が懐部分に入るものを、床吹き出しとして階高を下げる事により、木材量の削減を図りました。

Q 1階が2時間耐火材、2階以上は1時間耐火材となっています。1時間と2時間耐火の部材の単価差はどのくらいあるか情報が有れば教えて頂きたい。

A 単価は分かりませんが、1時間耐火と2時間耐火の差は石膏ボードが1枚多いかなどで、劇的に高くはないと思います。石膏ボードを何枚使うかの契約です。

Q 一般的には芯材はカラマツが多いと思いますが、杉を使った理由は？

A 市有林からとれる木が杉とひのきしか無かったため、やむを得ず杉としました。

Q エコボイドの採用の他に採択となるように工夫しましたか？

A 資料のプロジェクトの特色の5項目を先導性として評価されました。他に事例が無いような物を取り入れれば評価されます。

研修所感

この長門市の公共施設を木造で建てる、こだわりが現実のものとなるためには、市長の強いリーダーシップがあったのは前述の通りです。

ここで着眼すべきは、まず地元の木材と技術を活用し地域経済を元気にしようとしている点です。

そのまちにはそのしかない特別な資源が必ずあるはずで、これをどんどん表面に掘り起こす施策が地域の活性化です。資源の中には「人材」も当然、含まれこの「人材」と言う資源の持つ能力が発揮できることで個人も地域も元気になるはずです。

さらに長門市はこれを全国にむけて発信し建築コストの低減、財源確保、耐火性地震対策、といった数々の問題をクリアし、端材の有効活用にも取り組んでいます。

地方創生が叫ばれるなか、我々は次世代を見据え時代の潮流を読み市民が望む郷土「釜石」をつくる責任があります。

